

トイレ個室情報提供の在り方について

1 有効なシステム

Web 方式にて、電子タグの ID の送信、トイレ個室情報の受信を行い、更に、携帯電話の音声読み上げ機能によりトイレ情報を聞くことができるシステム。

- ・ トイレ個室にユニーク ID を記録した電子タグのみが貼り付けされている
- ・ 電子タグ読み取り機能を有した携帯電話により、ユニーク ID を読み取り、その ID を基にネットワークを通じて、そのトイレ個室情報を情報サーバーのデータベースから取得し、情報を聞く

2 有効な情報案内

(1) ガイダンス

- ・ 案内対象物の位置のみとし、文は簡潔である
- ・ 必須項目は便器・トイレトペーパー・水栓レバーの3項目である
- ・ 案内の項目の順序を固定する
- ・ 案内対象物の方向を示す起点を定めルール化する

(2) 操作性

- ・ 電子タグの読み取り開始・終了は音声で知らせる
- ・ 操作は一回の動作で情報取得が完結する
- ・ 電子タグの貼り付け位置を定めルール化する

7.3 実用化・標準化に向けて

今後のユニバーサル社会において障がい者の行動範囲の拡大を推し進めるための施策は、ますます、必要性が高まるものと考えられる。今回取り組んだ視覚障がい者の外出支援に関する需要も十分予測される。これまでの成果の中で分かるように、携帯電話を活用した公共トイレ音声案内による不安解消は確実に視覚障がい者への外出支援策となることから、実用化・標準化に向けて発展していくことを強く願うものである。